

「えっ?!
なんで私が目の前に?」

「おはよう、団長♡
ひひひ、あんたが寝てる間に身体を
入れ替えさせてもらった!」

「...嘘でしょ?!
私の身体を返せ!」



「しかしすげーおっぱいだなあ♡
それじゃあこの身体をさっそく試させてもらうぜ！」

「なにするつもり!?
や、やめてー!」



「あぁっ♡
おいおいッ!
この身体気持ち良すぎるッ♡」

お♡

「やめてえ!
私の身体でそんなことするなあ!」

「こんな快楽知っちゃったら
もう元の冴えないおっさんには戻れねえなあ♡」

ハチュンッ

ハチュンッ

ハチュンッ

ハチュンッ

「抵抗しても無駄だぜ！
お前はもう非力なおっさんだからなあ！」

「そ、そんなあ！」

はぁっ♡

あっ♡

「ほら見ろよ♡
お前のおちんぽが俺のおまんこの
奥までズッポリ入って喜んでるぞ♡」

ハチャッ

ハチャッ

ハチャッ

ハチャッ

「おおッ!?
きたきたあ♡
お前の記憶が見えてきたぜ!」

「は? 何言って……ッ!」

「頭の中にどんどん流れてくるぞ♡
配信活動も、リスナーとの思い出も
全部俺のモノだ♡」



ハチュンッ

ハチュンッ

ハチュンッ

ハチュンッ

「なんだあ？
普段からこんなやらしいオナニーしてんのかよ
淫乱女じゃねえか！」

「やめて！
記憶を覗かないでえ！」

はぁ♡♡

あ♡♡

「もつとだ！
もつとお前の全てを俺に寄越せ！」

ハチャッ

ハチャッ

ハチャッ

ハチャッ



「オラ！出せ！
無様に元自分の身体に射精しろお!!」

「いやあああああ!」

はぁっ♡

はぁっ♡

ハチュンッ

ハチュンッ

ハチュンッ

ハチュンッ





ゴクゴク

ゴクゴク

んおっおっおっ

ジュルル

ジュル

「へああ……♡
この身体イク時母乳まで……最高すぎる……♡」

♡♡♡

♡♡♡

「そんな……
自分の身体に中出ししちゃった……」



「これでだんちよの乗っ取り完了だね♡」

あはっ♡

「嘘、私みたいな口調……!?」



「これから私は私が白銀ノエルだから勝手なことしないなら飼ってあげてもいいけど？
どうする？」

「嫌ああッ!!」

あはっ♡

「まあ、嫌って言うても逃がしてあげないけどね♡
一生だんちよのペットとして可愛がってあげる♡」

























あはっ♡